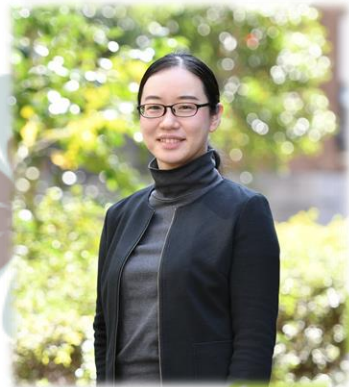


先生の推し本 第19回

2026年5月20日～8月末

コロイド界面「化学」の来し方行く末

理学部というと自然科学の探求という色合いが強いように思われがちです。そこに興味が無い人にはとっつきにくさを与えているかもしれません。ですがそれは決して無機質なものではなく、自然や身のまわりの現象への純粋な興味関心から社会を支える基盤技術に繋がっていくきわめて人間味のある学問分野であると思っています。特に伊村の専門である「コロイド界面化学」はゲル、分子膜、微結晶と対象が多岐におよび、さらには食品や洗剤、色材などを通して生活に密接に関わる面を持っています。テーマカテゴリーは専門領域の文献・図書となりますが、できるだけ分野外の方にも広く手に取ってもらえるよう一般書を中心に幅広いトピックスから選んでみました。一部は伊村が担当しているLA科目「分子から見た色と香り」の中でも紹介しています。履修している方もそうでない方も、是非ともページをめくってみてください。



伊村 くらは先生

東京理科大学工学部第一部工業化学科を卒業後、同工学研究科工学科学専攻修士課程修了、同総合化学研究科総合化学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。日本学術振興会特別研究員(PD)、中央大学理工学部応用化学科助教などを経て、2017年お茶の水女子大学に着任。現在、お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系准教授。
専門は、コロイド・界面化学、機能性材料。



図書館HPの
企画展示ページへはこちら